令和6年度 放射線の健康影響に係る研究調査事業一覧

テーマ1 : 線量推計に資する研究

テーマ2 : 身体面・心理面の健康に関する研究

テーマ3 : 事故による放射線不安への対策に資する研究

テーマR6-1: 福島第一原発事故後の長期にわたる低線量放射線の被ばくや避難等の生活習慣の変化による健康影響に関する疫学研究

テーマR6-2: 過去の報道や教育が放射線に係る健康不安に与える影響の分析及びその解消に関する研究

テーマR6-4: 福島県内における地方自治体の復興状況に応じたリスクコミュニケーションに関する研究

テーマR6-5: 原子力災害時のリスクコミュニケーションが実施可能な人材を育成するための研究

テーマR6-6: 放射線健康影響に係る科学的根拠の構築に資する研究

番号	年数	テーマ	研究者名	所属先	研究課題名
1	1	R6-1	北村哲久	大阪大学	福島県内外での疾病動向の把握に関する調査研究
2	1	R6-2	廣田誠子	広島大学	教育や報道が与える放射線不安と情報源選択への嗜好性を決める背景因子の解明
3	1	R6-4	床次眞司	弘前大学	福島県民の放射線被ばくに対する理解向上を目指した自然及び人工放射線からの公衆被ばく線量調査
4	1	R6-5	新井知大	駒澤大学	放射線災害時における職種を横断した風評被害対策に関する研究 —診療放射線技師及び公認心理師の連携・協働体制の構築—
5	1	R6-6	角山雄一	京都大学	線量率応答性数理モデルによる予測に基づく長期連続照射実験及び最新技術を用いてのWGS データ解析によるゲノムへの低線量率放射線照射影響の解析
6	2	1・2・3	高村昇	長崎大学	双葉町、大熊町における処理水、除去土壌、廃炉に関するリスク認知評価と、リスクコミュニケーションおよびそれに資する環境放射能評価の推進
7	2	2	佐治重衡	福島県立医科大学	放射線による健康影響不安を考慮した AYA 世代がん患者に対する包括的なピアサポート体制の構築
8	2	3	アミール偉	福島県立医科大学	環境省「ぐるぐるプロジェクト」におけるプロジェクトレビューに関する研究
9	2	3	青柳みどり	国立環境研究所	放射線健康不安にかかるマスメディア報道とその世論への影響に関する調査研究
10	2	1	金ウンジュ	量子科学技術研究開発機構	原子力災害時における被災者の個人被ばく線量把握及び健康管理に資するインテリジェンスデータベースの構築
11	2	3	佐藤美佳	福島県立医科大学	防災士による放射線防災/地域啓発活動モデルの構築と検証

12	2	2	坪倉正治	福島県立医科大学	福島原発事故後の二次的健康影響に関するまとめとその意識調査に基づいた情報発信に関する研究
13	2	3	土田昭司	関西大学	効果的なリスクコミュニケーションの実践に向けた評価手法の開発・検証及び社会実装に向けた提案
14	2	2	大平哲也	福島県立医科大学	原子力発電所事故後の避難住民・帰還住民における健康寿命に関わる震災関連及び身体心理社会的要因についての統合データベースの作成と要因検討
15	2	2	鈴木正敏	東北大学	不溶性セシウム粒子の生物影響に関する理解深化を目指す分野横断共同研究
16	3	1	佐藤雄飛	環境科学技術研究所	陸・水圏植物における有機結合型トリチウム(OBT)生産速度の網羅的把握
17	3	1	吉田浩子	東北大学	大熊町など福島第一原発に近い地域の住家における掃除による屋内放射性物質の低減効果
18	3	1	高原省五	日本原子力研究開発機構	原子力事故後の居住環境における室内外の物質移行を考慮した住民の被ばく線量評価に関する研究
19	3	2	笹谷めぐみ	広島大学	放射線によるゲノム変異(放射線の爪あと)とそれに起因する発がんを高感度に検出できるマウスを用いた、低線量・低線量率放射線発がんリスク評価研究とそのメカニズム解明
20	3	2	今岡達彦	量子科学技術研究開発機構	低線量率放射線発がんリスクの予測モデル構築及び遺伝的素因に関する基礎的研究
21	3	2	中島裕夫	大阪大学	セシウム 137 による慢性的低線量内部被ばくマウスの体細胞・生殖細胞における DNA 塩基配列への影響ー全ゲノム解析による継世代影響の統計解析ー
22	3	2	飯塚大輔	量子科学技術研究開発機構	低線量被ばくによる発がん高感受性臓器のがんに至る細胞動態解明
23	3	3	宇野賀津子	ルイ・パストゥール医学研究センター	3.11 以降 Twitter 上で交わされた放射線関連情報の解析を基に、住民の深層不安払拭のための科学的情報発信サイトの立ち上げとその評価
24	3	3	前田正治	福島県立医科大学	原発事故被災地への移住・定住者に対するウェルビーイング形成の支援フレームワークに関する研究
25	3	3	五月女康作	福島県立医科大学	福島県外のライフイベントを迎える世代に向けた放射線リスクコミュニケーションモデルの構築と実践

26	3	3	江口有一郎	ロコメディカル 総合研究所	ソーシャルマーケティング手法および行動科学・行動経済学的手法を用いた放射線の健康影響や自然災害等に対する最適な意思決定の促進および不安・誤解・偏見・差別解消のための方策の解明
27	3	3	竹西亜古	兵庫教育大学 大学院	放射線イングループ・リスクコミュニケーターの育成に向けた双方向リスクコミュニケーションゲームの開発と検証
28	3	1・2	数藤由美子	量子科学技術 研究開発機構	FISH 解析法による低線量被ばく評価に向けた基盤構築
29	3	2・3	小島祥敬	福島県立医科 大学	福島県内における東日本大震災前後の停留精巣患者数の実態調査